

おうち時間でぬりえ

わだい④

5月15日、町では町第7次総合発展計画のイラスト「ふながたまちの未来」のぬりえを作成しました。これは、新型コロナウイルス感染症対策の中、家で過ごす時間を活用してもらおうと企画されたものです。裏面には子ども向けにめがみちゃんのぬりえもあります。

ぬりえには、ストレス解消や認知症予防の効果があると言われています。なお、完成したぬりえは町施設に展示しますので、ご応募ください。ぬりえは町ホームページからもダウンロードできます。



自宅で読書を楽しんで

わだい①

4月23日から5月8日まで、教育委員会により本の宅配貸出サービスが行われました。これは、新型コロナウイルスの感染拡大を防止するため外出自粛を呼び掛けていたことから、自宅で本に親しみ読書を楽しんでもらおうと取り組んだものです。

期間中はお子さんがいる家庭からの利用が多くあり、利用した方は「外出自粛の中、本を届けてもらい読書を楽しめるのは助かります」と話してくれました。



遺族会から町社会福祉協議会に寄付

わだい②

4月30日、舟形町遺族会（会長 佐藤幸男さん）から町社会福祉協議会に寄付の贈呈がありました。

町遺族会は、高齢化に伴う会員の減少もあり、令和2年3月31日に解散となりましたが、会員のみなさんの平和への思いや戦後を乗り越えてきたたくましさ、今の日本の平和につながっていると思います。今後は毎年8月に行なっていた戦没者追悼式に代わり、猿羽根山の忠魂碑での参拝が行われる予定です。



2ヵ月ぶりにみんなが登校

わだい⑤

5月18日、舟形小学校と舟形中学校で、3月4日の休校から約2ヵ月ぶりに学校が再開しました。新型コロナウイルス感染症対策として、町が休校措置をとっていましたが、5月14日に緊急事態宣言が解除となったこと、また、県内の感染状況を検討し、町教育委員会及び町新型コロナウイルス感染症対策本部が再開を決定したものです。

久しぶりに全校生徒がそろい、校内には子どもたちの笑顔があふれていました。



国宝縄文の女神特殊切手が発売

わだい⑥

5月29日に、国宝土偶縄文の女神を含む特殊切手「国宝シリーズ第1集」が郵便局で発売されます。これは、一昨年に町長が縄文国宝自治体首長懇談会のメンバーと日本郵便本社に出向き、要望活動を行なったことで実現したものです。

当時の横山日本郵便社長からは「縄文文化は世界に誇れる日本独自の文化であり、土器・土偶は故岡本太郎氏が絶賛した造形美です。是非特殊切手に採用したい。」と言ってくれました。便りに乗って縄文文化が広がっていきます。



読み聞かせで笑顔に

わだい③

5月8日、学童保育所で読み聞かせボランティアサークル「めがみちゃんの会」（会長 阿部弘明さん）が、紙芝居や本の読み聞かせを行いました。

例年、小学校で読み聞かせを行なっている同会は、休校が続く学校での活動ができない中、学童の子どもに読み聞かせを楽しんでもらおうと行なったものです。子どもたちは臨場感あふれる語り口に、熱心に聞き入っていました。



5/21 株式会社齊藤工務店
子どもたちの未来のため



▶町の子どもたちのために寄付していただきました。

5/20 株式会社大成技術コンサルタント
町の子どもたちのために寄付



▶子どもたちの教育のために寄付していただきました。

5/1 感染予防を
縄文の女神もマスク



▶新型コロナウイルスの感染予防を呼び掛けるため、手作りマスクを取り付けました。

5/15 舟形町グラウンド・ゴルフ協会
オープニング大会



▶今年度初の大会に約50名が集まり、感染対策をしながらプレーしました。

5/13 舟形町議会
新型コロナウイルス
感染症対策要望書



▶八郷町議会議長から、新型コロナウイルス感染症対策の要望書が手渡されました。

4/23 春の訪れ
町内各地で桜が見ごろに



▶暖冬の影響で、例年より少し早く桜が満開になりました。